

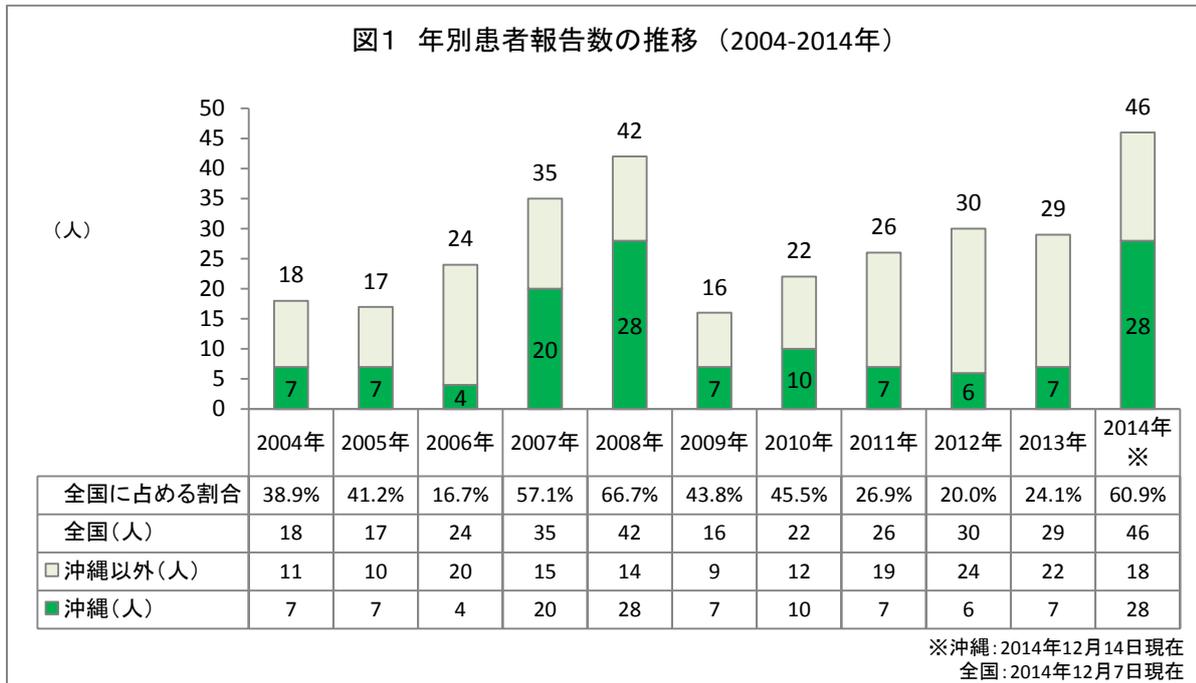
レプトスピラ症の発生動向（沖縄県 2014年）

1 年別報告数の推移（2004年～2014年）

沖縄県のレプトスピラ症の報告は、年間4～28人で推移しています。

2014年（12月14日現在）の報告数は28人で、2004年以降最も多かった2008年と並び多くなっています。沖縄県は国内で患者報告が多く、県外では、八重山地区を旅行中に感染した観光客が、本土に戻った後に診断される例も報告されています。

図1 年別患者報告数の推移（2004-2014年）

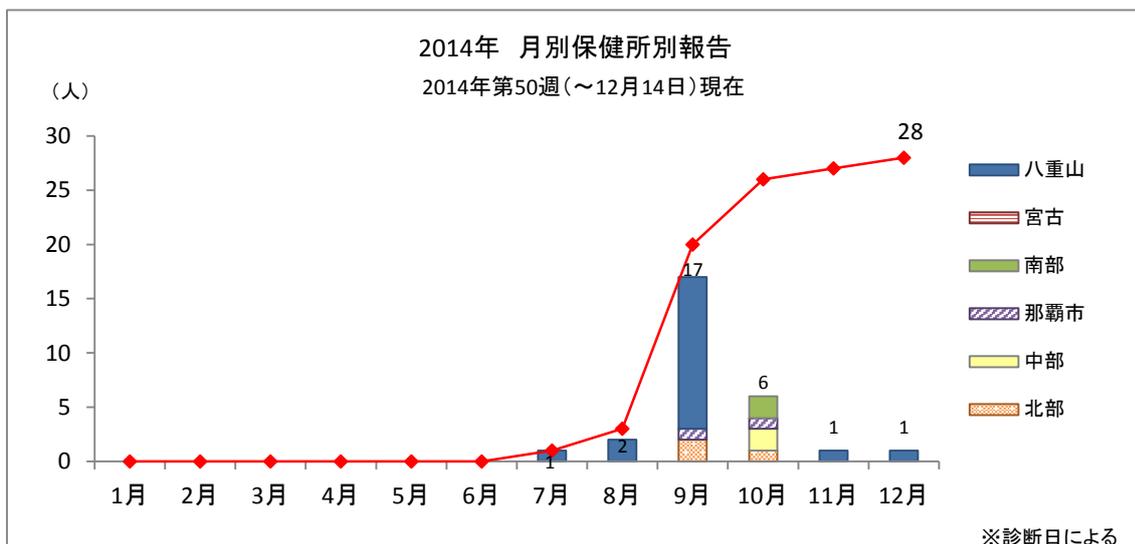


レプトスピラ症は2003年11月施行の感染症法一部改正により、4類感染症に指定されました。

2 月別届出受理保健所別報告数

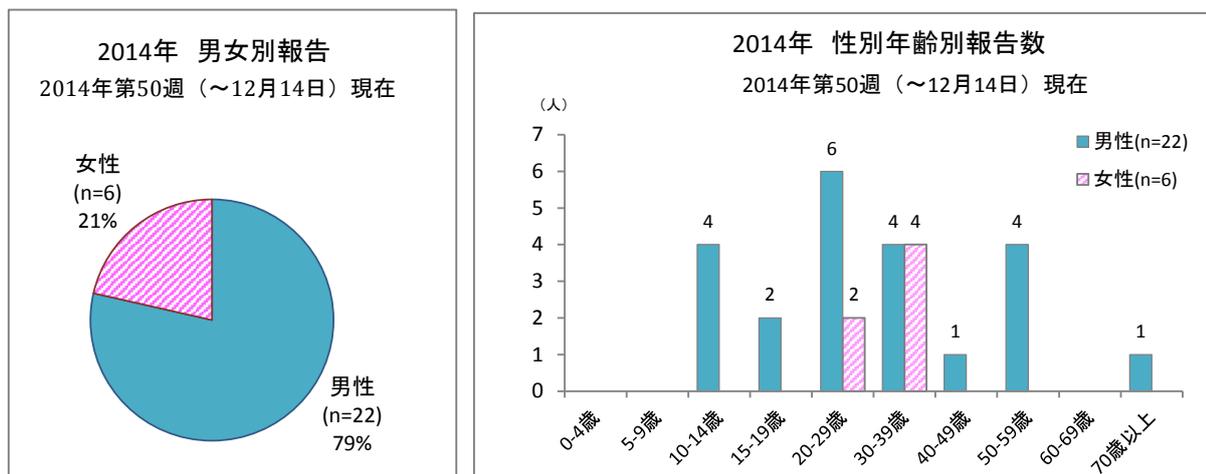
・例年、夏から秋にかけて多くなります。

2014年は、7月末に今年初めての患者報告があり、9月に最も多くなっています。



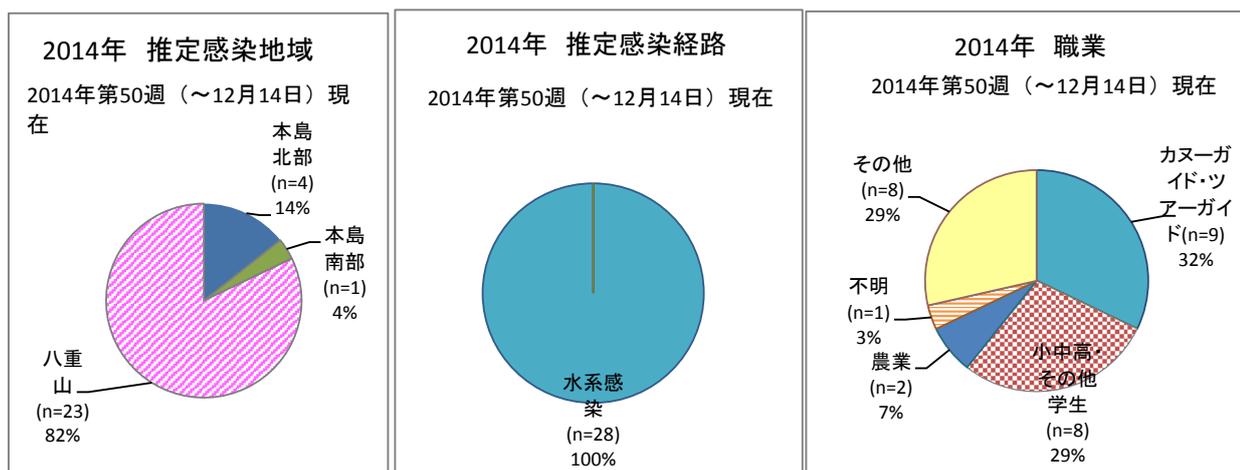
3 性別年齢別（2014年）

男性が79%を占めています。
 年齢別では、20～30歳代が多く、全体の6割を占めています。男性では20歳代、女性は30歳代が多くなっています。

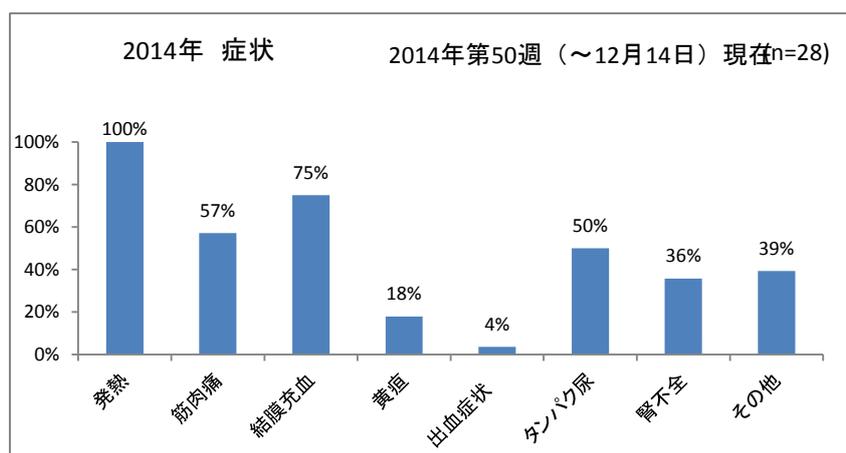


4 推定感染経路・感染原因（2014年）

推定感染地域は、八重山地域が82% (23人) を占めており、その内訳は、西表島12人、石垣島11人となっています。推定感染経路は、すべて水系感染で、滝を含む河川でのレジャー活動での感染が疑われる例が多くなっています。その他、本島南部で農業用水が感染源と推定される例が1件報告されています。



5 症状（2014年）



6 参考資料

<速報> 沖縄県八重山地域で発生したレプトスピラ症 2014年8月(IASR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ia/id/803-disease-based/ra/leptospirosis/idsc/iasr-news/4940-pr4157.html>

2013年に沖縄県西表島で発生したレプトスピラ症 (IASR Vol. 35 p. 14-15: 2014年1月号)

<http://www.nih.go.jp/niid/ia/id/1057-disease-based/ra/leptospirosis/idsc/iasr-in/4260-kj4071.html>

沖縄県におけるレプトスピラ症患者の発生状況、1988～2007年(Vol. 29 p. 10-12: 2008年1月号)

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/335/dj3354.html>

1999年夏季に沖縄県八重山地域で多発したレプトスピラ症 (IASR Vol.21 p 165-166:2000)

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/21/246/dj2463.html>